

# 北社会ニュースオ78号

2012年1月12日

発行者： 鈴木壮夫

北社会・会員の皆さん、どんな新年をお迎えでしょうか。故郷・宮城の方々の苦勞と頑張りのお便りを拝見するたび、私はそば屋の宿命(?)でほぼ三週間働くことへの心の強さをいただきました。早朝、5時前に暗やみの中を店に向かう時、“なんのこれしき”と励まされました。1月3日の朝日新聞に西澤潤一会長の「海外の水力発電・輸入に活路」の記事、青山史朗先輩からは昨年11月に開催された山川民夫先輩の卒寿を祝う会の素晴らしい資料をご送付いただき、その都度背筋をピンとさせてもらいました。70才で弱音なんか吐くな!!しっかり生きろ!!と励ましていただき、心から感謝しております。

## (1) 1月16日(月)開催、第295回 北社会

恒例の総会と新年会です。昨年の開催実績、会計報告等が終了したら、参加者お一人お一人に1~2分間のスピーチをお願い致します。北社会は会員皆様の「当事者意識」で継続できております。青山先輩に代わって私達5人が世話役をお引き受けしたのは2004年の2月、第218回でした。参加者も以前に比べて半減の寂しさ(?)です。

“何かをかえていきたい”世話人の切なる願望です。どうぞ、ご協力下さい。

## (2) 新しい同窓会会長・大井龍司氏とのお付き合い

写真は龍司氏です。昭和31年(1956年)8月軽井沢で開催されたNIPPON JAMBOREEに上杉小時代に結成された私達「仙台第17隊」も参加しました。国内だけでなく海外からの参加もあり皇太子、鳩山首相もお見えになりました。一年上級の大井さん達は現地の準備のため一日早く現地に向かいました。翌日が甲子園出場を決めた磐城高に3-1で勝利した記念すべき日でした。軽井沢に着いてキャンプ地の草刈りをしながら、東北大会の決勝戦の顛末を問われるまま、語り続けました。私にとって素晴らしい一年生の夏でした。上杉小5年からのお付き合いです。大井さんは一年しかちがわないのに、いつもオトナだなと思っていました。二高時代、校舎ですれ違うたびに励まされたこと昨日のように思い出します。



大井さんが卒業され、私が三年生に進級する三月、私は大井さんの「Ⅲ」の襟章を貰いにご自宅に伺いました。笑って手渡して下さいました。お母様も玄関口にお越しになり

「ソーフさん、龍司は落ちたのよ。合格した人にもらったら」と笑顔で送り出していたこととても懐かしいです。6~7年前になるでしょうか大井さんが県立こども病院の院長をされていた時、訪問してお会いして以来ご無沙汰しております。正月に久しぶりに電話で会話をしました。お会いできる機会が増えることが楽しみです。

皆さんにお願い：来月の講師も本日現在未定です。自薦・他薦をくれぐれもよろしく  
お願い致します。今年もよろしくお願い致します。